



にかかる審査判定

状態の維持・改善可能性

審査判定ルール確認票 NO. 18
(平成 28 年 9 月)

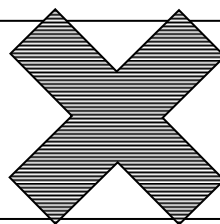
主治医意見書

「症状としての
安定性」が不安定
になっている。

1. 傷病に関する意見

(1) 診断名 (障害の直接の原因となっている傷病名については1. に記入) 及			
1.	発症年月日	(昭和・平成	年
2.	発症年月日	(昭和・平成	年
3.	発症年月日	(昭和・平成	年
入院歴 (直近の入院歴を記入)			
1. 昭和・平成	年	月～	年 月 (傷病名:
2. 昭和・平成	年	月～	年 月 (傷病名:
(2) 症状としての安定性			<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定
(「不安定」とした場合、具体的な状況を記入)			

これだけで、
要介護 1 「状態不安定」
の理由になりますか？



主治医意見書の「症状としての安定性」に「不安定」との記載があっても、それだけを根拠に状態が不安定と選択判断することはできません。主治医意見書及び認定調査の特記事項をもとに、介護の手間の増大にともない、おおむね6か月以内に介護度の再評価が必要かどうかという観点から判断してください。

(介護認定審査会委員テキスト P27)